

患者さんご家族の方へ

イオパミドール 300 注による胆管・膵管および消化管造影等について（適応外使用）

この検査等は必要時速やかに行う必要があるため、対象となられた患者さんに事前にご説明して同意をいただく代わりに、病院ホームページ上で公開することでお知らせをしております。この検査等を行うことは、当院の倫理委員会にて評価され承認されています。この検査等についてご質問がありましたら、担当の医師までご相談ください。

実施内容	イオパミドール 300 注による胆管・膵管および消化管造影等
承認日	2026 年 3 月 24 日
対象者	当院で胆管・膵管および消化管造影等を行う患者
概要	検査等で使用している造影剤「ウログラフィン 60%」が、現在、供給停止状態で、全国的に入手が困難となっています。当院では、必要な検査や治療を滞りなく実施するため、代替薬として「イオパミドール 300 注」を使用することとしました。
安全性・有効性	イオパミドールは、国内では、主に血管内投与（CT 検査や血管撮影など）で承認されている医薬品ですが、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）や PTC（経皮経肝胆道造影）等に関しては、現時点で、国の承認を受けておりません。しかし、海外では ERCP 関連処置等で、国内では PTC 関連処置および消化管造影等で使用され、安全性と有効性に問題のないことが報告されています。 また、本剤は、非イオン性ヨード造影剤に分類され、ウログラフィン（イオン性ヨード造影剤）と比べて、組織への刺激が少なくアレルギー反応などの副作用の発現頻度も少ないことが報告されています。 使用の際には、ウログラフィンと同様に、十分経過観察を行い、副作用等の発現時に適切な対応ができる環境下で使用します。
費用負担	この検査等にかかる費用は通常の保険診療と同じです。この検査による副作用が生じた場合も保険診療になります。なお、国の副作用被害救済制度の対象とならない場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ先：福井県立病院倫理委員会事務局 電話 0776-54-5151(内線 2043・2047)